

位置情報付き PDF(GeoPDF)の提供について

嶺北森林管理署

当署造林事業では、請負箇所の実測図 PDF を位置情報付き PDF(GeoPDF)として提供します。GeoPDF に対応した GIS 等をご活用していただければ、位置の把握を確認することができます。位置情報付き PDF(GeoPDF)の使用方法として 2 点ご紹介します。

1. 「QGIS」「QField for QGIS」を使用する方法

林野庁において、オープンソースの無料 GIS である「QGIS」、「QGIS」で作成したプロジェクトをスマートフォンで表示することができる無料アプリ「QField for QGIS」の活用が進められ、実証事業が行われています。下記に実証事業で作成されたマニュアルのリンクを記載します。

○QGIS データセットの利用の手引き

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/attach/pdf/seibi-103.pdf

○生産・造林事業における QGIS データセット作成手順

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/attach/pdf/seibi-98.pdf

○生産・造林事業に活用できる QField 操作ガイド

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/attach/pdf/seibi-112.pdf




操作ガイドの中では、QGIS で作成したプロジェクトファイルを読み込んでいますが、GeoPDF を読み込むこともできます。GeoPDFを読み込むと図面とOpenStreetMapが表示されます。





2. Adobe Acrobat により緯度経度・計測をする方法(Adobe ヘルプより抜粋して記載)

(1) 緯度・経度を確認する方法

- ① ツール / ものさし(オブジェクトを測定) / 地図位置ツール を選択。
- ② 地図上の位置を右クリックして「位置をマーク」を選択。
- ③ 位置の注釈を開いて、位置情報をコピー。

(2) 面積計測・距離計測を行う方法

- ① ツール / ものさし(オブジェクトを測定) / ものさしツールを選択。
- ② 右上にツールが表示されるので、測定タイプを距離 、面積 、周辺  から選択。
- ③ スナップオプションを選択。

パスにスナップ  終点にスナップ  中間点にスナップ  交点にスナップ 

- ④ 次のいずれかの操作を行う。

○距離ツールを使用している場合

測定の始点をクリックし、終点までドラッグして再びクリック。距離が右下隅に表示される。

○周辺ツールを使用している場合

地図内で周囲の長さを測定したい領域のいずれかの隅をクリックし、そこから各隅までドラッグする。各隅でクリックし、終点をダブルクリックする。情報ウィンドウに周囲の長さが表

示される。

○面積ツールを使用している場合

地図内で面積を測定したい領域のいずれかの隅をクリックし、そこから各隅までドラッグ。方向を変えるごとにクリック。終点をダブルクリックして総面積の測定結果を表示する。

⑤ 測定を終了するには、右クリックして「測定を完了」を選択。

または、「測定をキャンセル」を選択。

- (3) Adobe Acrobat を活用した位置情報付きPDFの操作方法については、下記のリンクに詳しく記載されていますのでご確認ください。

https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/geospatial-pdfs.html#interact_with_geospatial_pdfs